

平成17年度事業報告書

．庶務関係

1．定期監査

平成17年5月23日、本会事務所において、大野、山部監事出席のもとに定期監査が実施された。

2．理事会

(1) 平成17年4月13日、熊本県畜産会館において理事会を開催し、次の議案について審議した。

第1号議案 平成17年度暫定予算の承認の件

第2号議案 平成17年度通常総会提出議案の件
平成16年度事業報告及び収支決算報告の件
役員改選の件

第3号議案 平成17年度通常総会開催日について

(2) 平成17年6月2日、熊本県畜産会館において理事会を開催し、次の議案について審議した。

(1) 平成17年度通常総会提出議案3件

第1号議案 平成16年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認の件

第2号議案 平成17年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認の件

第3号議案 役員改選の件

(3) 平成18年3月29日、次の議案について書面による理事会を開催し、いずれも原案通り承認可決した。

第1号議案 平成18年度暫定予算について

第2号議案 個人情報取り扱い方針について

3．通常総会

平成17年6月2日、熊本県畜産会館において平成17年度通常総会を開催し、下記の議案を審議、いずれも原案通り承認可決した。

第1号議案 平成16年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認の件

第2号議案 平成17年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認の件

第3号議案 役員改選の件

4．役員改選結果

会 長 續 省三、副会長 穴見 盛雄、常務理事 中川 利美
理 事 枳穀 勝久、佐藤 昌明、吉野 栄二
松田 則康、那須 眞理子、山部 邦展
監 事 吉田 敦、大野 秀人、

・事業成績

1. 会員並びに登録・登記の状況

本年度の会員数は、対前年比9%減の2,100名であった。

育種高等、産肉登録、は増加し、繁殖登録ならびに子牛登記は減少した。各道県別の会員数並びに頭数は表1の通りである。

表1 道県支部別会員数・登録登記頭数

区分 支部別	会員数	育種高 等登録	高 等 登 録	産 肉 登 録	繁 殖 登 録	子 牛 登 記	交 雑 登 記	登録登記 合 計
北海道	109 (117)				75 (117)	573 (648)	0 (1)	648 (766)
岩 手	20 (20)				6 (3)	81 (88)		87 (91)
秋 田	75 (97)				17 (17)	113 (179)		130 (196)
埼 玉	1 (1)				0 (0)	7 (2)	0 (1)	7 (3)
茨 城	1 (0)				2 (0)	2 (0)	0 (0)	4 (0)
静 岡	2 (1)				3 (3)	3 (1)		6 (4)
長 崎	28 (49)				11 (26)	59 (74)	7 (12)	77 (112)
対 馬	61 (72)				29 (14)	148 (151)		177 (165)
熊 本	1803 (1951)	32 (26)	32 (32)	17 (13)	797 (1,041)	7,290 (7,508)	417 (564)	8,585 (9,184)
計	2100 (2308)	32 (26)	32 (32)	17 (13)	940 (1,221)	8,276 (8,651)	424 (578)	9,721 (10,521)
前年比	91.0	123.1	100.0	130.8	77.0	95.7	73.4	92.4

注：()内数字は前年度実績、 は支部未設置県を示す。

2. 育種改良事業

- (1) 国、県が推進している肉用牛広域後代検定推進事業に積極的に協力し、候補種雄牛の能力調査、基礎雌牛の選定など優良種畜の選抜、ならびに不良形質の除去対策などに取り組んだ。
- (2) あか牛集団の血統の偏りを是正するためのくまもとあか牛振興対策事業に協力し、計画交配の手法を検討するとともに稀少系統の保存に努めた。
- (3) 間接検定、現場検定及び一般の肥育成績を調査し、得られたデータについて分析、育種改良の基礎資料とした。
- (4) 超音波測定器による肉質形質の調査及び育種改良への応用
候補種雄牛、繁殖基礎雌牛の選抜利用法の確立のために超音波測定による肉質の診断を実施した。

3. 普及指導事業

- (1) 全国あか牛研究大会の開催
 - ・平成17年8月24～25日 熊本県高森町（南阿蘇畜産農協）
 - ・参加者 約160名
 - ・特別講演 「あか牛の底力を顧客へ伝える（安心・安全・美味しい肉づくり）」
講師：うぶやま田舎塾塾長代理 滝本 勇治 氏
 - ・南阿蘇畜産農協の取り組み紹介
 - ・優良繁殖牛供覧、畜協肥育施設見学
 - ・子牛市場見学
- (2) 各県支部が主催した研究会、研修会等に担当者を派遣し指導に努めた。

4. 組織対策事業

支部の活動及び会員の各種会合等に対して協力した。

5. 刊行事業

機関誌『あか牛』を刊行した。

6. 表彰事業

各種共進会に対し、副賞を贈呈して上位入賞牛を表彰した。

7. 受託事業

(1) 計画交配推進調査事業（熊本県委託）

肉用牛広域後代検定推進事業の補完的な事業として、基礎雌牛の選抜、超音波測定、血統分析、繁殖成績等の特性や能力ならびに異常形質の発生状況について調査し、計画交配の推進に努めた。

(2) 家畜改良体制整備事業（家畜改良事業団委託）

登録証明書の発行をコンピュータで処理する、改良体制整備事業を実施した。
また、個体識別システムを利用した登録事業について検討した。

(3) 肉用牛生産性向上対策事業（全国肉用牛振興基金協会委託）

効率的な肉用牛生産技術を普及するために指導者の研修会を開催した。

日時：平成18年3月3日

場所：熊本畜産流通センター、熊本県農業研究センター

講演 (ア)家畜ゲノム解析の現状と課題

井原 尚也研究員（畜産技術協会動物遺伝研究所）

(イ)あか牛におけるゲノム解析の現状と今後の活用方向

古田 雅子技師（熊本県畜産研究所）

検討会（あか牛の現状と問題）

(ア) 血統、枝肉成績について

(イ)産肉形質の遺伝的評価の推移について

産肉能力検定（間接検定）終了牛の枝肉成績検討

(4) 新酪肉基本方針啓発普及事業（家畜改良事業団委託）

あか牛の改良状況を検討するため、繁殖牛・肥育牛の定点調査を実施した。